

ニューズレター 2023年度 第3号

日本音楽表現学会 2024年3月31日発行

目 次

【巻頭言】教養で音楽が変わるのか？	大竹 紀子	2
2024-25 年度 会長・理事選挙 開票結果報告		3
日本音楽表現学会 第22回（バッカスの宴）大会のご案内		3
新入会員紹介		6
会員による新刊案内		6
後援コンサート等情報		7
日本音楽表現学会創立20周年記念事業について		8
『音楽表現学』Vol.22 原稿募集		8
事務局からの重要なお知らせとお願い		9
第21回日本学術振興会賞・第15回日本学術振興会賞有志賞の推薦募集について		11
日本音楽表現学会 第22回（バッカスの宴）大会会場のご案内		12
2023年度役員・委員等一覧		12
編集後記		12

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 ^{いちさんきゆう} 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会

教養で音楽が変わるのか？

大竹 紀子（ピアノ）

所属する東京音楽大学において、ピアノ実技のレッスンと英語で教えるリベラルアーツ科目の両方を担当していることもあり、音楽と教養の関係性について色々考えるようになった。

東京音楽大学ミュージック・リベラルアーツ専攻では、ピアノ、声楽、ヴァイオリンなどの専門実技や作曲・創作を普通の音大生として学びながら、同時に、英語を中心とした多様な教養科目の授業を受けられる。音楽も勉強も諦めたくない学生にニーズがあり、良い学生が集まってくれ、卒業生は演奏、音楽業界、ビジネス、教育の世界へ羽ばたいていっている。音楽+教養+英語という三本柱がこれからも多くの可能性を開拓していくのではないだろうか。

さて、改めて考えるが、演奏家に教養は本当に必要なのだろうか。もちろんほとんどの指導者が、音楽史を学びなさい、作曲家についての本を読みなさい、曲の背景を調べなさいと言うだろう。さらには文学、美術、科学などの世界にも見識があるべきと言うだろう。しかし、作曲家や曲の背景について学び、他の分野のことも知ったとして、真に演奏は良くなるのだろうか。作曲家の名前さえ知らずに“純粋に”音楽に向かうということはあるのだろうか。演奏の世界では、知識を嫌う傾向もあるように思う。「知ること」より「感じること」がより音楽的な営みであると言いつける人もいる。

誰かが、ある作曲家について調べれば調べるほど「女だったらし」だった逸話ばかり出てきて曲の演奏には全く役立たなかったと言っていた。「女だったらし」はともかくとして、その作曲家がどういう人生を歩んだか知ることによって、実際の音色の美しさに、生き生きとしたリズムに、説得力のある演奏に、それが投影されるのだろうか。一方で、別なことも言える。例えば、寿司屋の大将が握っている魚のことについて何も知らないなんてありえるだろうか？いくら出されたお寿司が美味しくても、その魚の旬や産地を知らないと言われたら、なんだか味まで微妙にならないだろうか？魚について知らない人が本格的な寿司を握れるはずがない。私たちは多くの場合、全人的になんらかの表現を受け止め、その価値を判断している。

私が学んだジュリアード音楽院での恩師は素晴らしい教養を持つピアニストだった。作曲家や作品に対する知識は計り知れず、私に許されたレッスン時間内では先生が知ることのほんの一部しか共有できなかった。ある年、私のレッスン時間が朝一番だった時、ノックしてレッスン室に入ると先生はいつもニューヨーク・タイムスを読んでいた。政治、経済、国際情勢など、アメリカ国内のみならず、日本の状況にまでも詳しく、本当に「なんでも語れた」。人間として

の幅が広く、その広い幅で音楽を捉える。まさにそれを体現していた。

ちなみに今のジュリアード音楽院の学士課程入試では、プレ・スクリーニングがあり、演奏を動画で送るとともに、自身の音楽経験と音楽観についてまとめた小論文と自己紹介ビデオを提出しなければならない。その中にはいわゆる志望動機とともに「作品を一つ選んでそれについて語る」という要件がある。修士課程になると小論文のトピックとして「今日の世界において芸術市民 artistic citizen になるということはあなたにとってどのような意味があるか」という設問が与えられている。このプレ・スクリーニングを通過してはじめてニューヨークでの本試験を受けることができる。演奏のクオリティだけではなく、どのように自分や音楽について語れるかという能力は、昨今では国際コンクールでも求められているそうである。（さらにちなみに、ChatGPTなどの使用は「あなたがジュリアードで成功できるポテンシャルがあるかどうかを見極める判定そのものをおとしめることになります」とある。難しい問題・・・）

ピアニストのエドウィン・フィッシャーの言葉によれば「われわれは一人の作曲家の本質を・・・内部に受け入れ、彼の特性の本質的なものが知らず識らずのあいだにわれわれの演奏のなかに現われるよう、その作曲家の形成力をわれわれの内部に移行させるのでなければならないのである」¹⁾。またゲンリフ・ネイガウスはピアノ奏法について記した有名な本の中で、リズムやテクニクについて語る前に「音楽作品の芸術的形象」という章を設け、「物語」で満足し具体的なピアノ演奏への助言を与えない教育家は「ぜんぜんだめ」であるが、反面、ただテクニクしか見ないで「ぼんやりした表象しかもたない教育家もだめ」と強調している。「認識の欠如は魂のない、形式主義的な音楽と、空虚な、興味のない演奏を生み出す」²⁾のである。

記号として楽譜に書けることには限りがある。それを音楽にする時にエネルギーが必要となる。何を知っているかではなく、知りたいと思う姿勢そのものが音楽に影響する。知ることがエネルギーになる。教養で音楽が変わるのか？もちろんそんな単純なことではないが、音楽を取り巻く世界への探究心が音楽を変えると信じたい。そして、フィッシャーやネイガウスの言葉は、真剣に音楽に取り組もうとする学生を教える立場にある私に矢のように突き刺さる。

1) Fischer, Edwin, 佐野利勝訳, 1977,『音楽を愛する友へ』新潮社。

2) Neuhaus, Heinrich, 園部四郎訳, 1965,『ピアノ演奏芸術について』音楽之友社。

2024-25 年度 会長・理事選挙 開票結果報告

日本音楽表現学会会長
小西 潤子 様

2024 年 3 月 20 日

2024-25 年度選挙管理委員会
委員長 牛渡 克之
委員 岡 ひろみ
佐藤 薫



2024-25 年度選挙管理委員会では「2024-25 年度会長・理事選挙」の開票を 2024 年 3 月 20 日（水・祝）に本学会事務所において行いました。その結果を報告いたします。

記

プライバシー保護の観点から票数を非表示

1. 有権者数 607 名	役職名	候補者氏名	得票数	信任の可否
2. 投票者総数 255 名	会長	藤原 嘉文		○
3. 有効投票用紙 255 枚	理事	石原 慎司		○
4. 無効票用紙 0 枚	理事	大竹 紀子		○
5. 有効投票用紙における各候補者の得票数	理事	小川 有紀		○
右の表の通り	理事	豊田 紀子		○
6. 最低信任数 投票数の 1/2 = 128 票	理事	深井 尚子		○
7. 信任の可否 全候補者それぞれの得票数が、信任に必要な最低数、128 票を超えているので、全員が信任されたと見なされる。	理事	三島 郁		○
	理事	宮本賢二郎		○
	理事	吉田 秀文		○

日本音楽表現学会 第 22 回（バッカスの宴）大会のご案内

会 場：山梨大学甲府西キャンパス（甲府市武田 4 丁目 4-37）
会 期：2024 年 6 月 22 日（土）- 23 日（日）

「バッカスの宴」大会に向けて

「よっちゃばれ」山梨へ

日本音楽表現学会会長 小西 潤子

大会実行委員長 藤原 嘉文

2024 年 2 月半ば、事務局メンバーと共に校内に積雪が残る山梨大学を訪れ、2012 年第 10 回 (Blue Valley) 大会の懐かしい記憶が蘇りました。そして、2015 年ノーベル医学・生理学受賞者・大村智博士記念基金事業の一環で設置された、大村智記念学術館も視察しました。その目的が、「地域コミュニティの中核的存在となり、学術・文化・芸術の創造と発信の拠点」となることだと知り、感銘を受けました。

有志による「酒づくりの合唱曲」のオープニングに始まり、山梨の地場産業であるワインと日本酒をとりあげて音楽表現を考える基調講演と 2 つのレクチャー、盛りだくさんの研究発表からなる「バッカスの宴」は、まさに「学術・文化・芸術の創造と発信」です。その場に相応しい会場を提供いただく山梨大学、および実行委員各位に感謝申し上げます。コロナ後初の情報交換会も行います。多くの会員にご参加いただき、皆様との再会を心待ちにしています。

今年の大会は 2 回目の山梨。コロナ禍以来 5 年振りの情報交換会も含めたフルスペックでの大会を山梨大学で開催できますことに、実行委員一同大変喜んでおります。できるだけの準備をしてお迎えしたいと思います。6 月の甲府は初夏の彩りを感じられる良い季節です。新宿から 1 時間半。新緑が眩しい高尾の山を越え、笹子峠を越え目の前が開けるとそこが甲府盆地。勝沼葡萄郷、桃の産地で有名な一宮を過ぎると甲府駅。ちょっとした旅行気分になります。駅からは、武田通りを北へ徒歩 18 分くらい。バスもありますが、タクシーならワンメーターと、意外と便利です。

基調講演、レクチャーも「バッカスの宴」にちなんで充実した企画です。特にオープニング合唱「酒を造る里の物語」を”唄い隊”多くの皆様のご参加をお待ちしております。分科会も多くの研究発表の申し込みをいただき、充実した大会になりそうです。では山梨でお会いしましょう。『よっちゃばれ』山梨へ。

◎【大会日程】

21 日 (金)											16:00-----19:00					
理事会→実行委員会と共に会場設営																
22 日 (土)		10:00	10:50	12:20	13:00	13:30	14:15	14:45	15:20	15:40	16:50	17:05	18:05	18:20	20:20	
会場準備			受付		開会式		基調講演		レクチャー 1, 2		総 会		サロン		情報交換会	
唄い隊集合・リハ・受付・昼食・本音																
23 日 (日)		8:30	9:00	10:30	10:45	12:15	13:15	14:45	15:00	16:30	18:30					
		受付		分科会Ⅰ		分科会Ⅱ		昼食休憩		分科会Ⅲ		分科会Ⅳ		閉会・撤収・復元・新旧合同理事会		

◎【プログラム】

オープニング：菅野由弘作曲《酒を造る里の物語》より〈桶洗唄〉〈もとすり唄〉〈三ころ〉

指揮：菅野由弘 合唱：唄い隊（日本音楽表現学会有志）

基 調 講 演：茂手木潔子氏（上越教育大学名誉教授）………「酒屋唄に聞く日本の声の表現」

レクチャー 1：菅野由弘氏（作曲家・早稲田大学教授）………「酒づくりの合唱曲」

レクチャー 2：奥田 徹氏（山梨大学理事 / 副学長・ワイン科学研究センター教授）………「ワイン製造における味の表現と音楽」

サ ロ ン：本年は、大教室の中での関心分野別グループで共通の話題・テーマについて話し合います。詳細は『(バックカスの宴) 大会要項』をご覧ください。

情報交換会：コロナが明けて 4 年振りに参加者が集い、近況を話し合い、懇親する時間。懐かしい友人、新しい人々との懇親のひとときをお楽しみください。

能登半島地震支援特別企画：『一献の系譜』自主上映

分 科 会：* CⅢ①、EⅢ①、EⅣ②はワークショップ(WS)です。* 2 行を超えるタイトルはサブタイトルを省略しています。

研究発表：23 日 時間帯： I 9:00-10:30 II 10:45-12:15 III 13:15-14:45 IV 15:00-16:30

分科会	司会者	発表者	発表題目
AⅠ	小野 亮祐	①後藤 丹	モーツァルト：ピアノソナタイ長調 K.331 の全体構想 —第 1、第 2 楽章の帰結として作られたトルコマーチ—
		②深井 尚子	ベートーヴェン後期ピアノソナタの前打音の変遷の考察 —ロマン派への移行の要素として—
AⅡ	神部 智	①二宮英美歌	モーリス・ラヴェルのピアノ作品《À LA MANIÈRE DE…風に》に関する一考察 —《ボロディン風に》を中心に—
		②赤塚 太郎	ベルリン・リート楽派の作品から再考する芸術リート (Kunstlied) の成立過程 —詩の音楽化を図った伴奏部の考察を中心に—
AⅢ	稲木 真司	①小笠原真也・宮田知絵	本居長世のピアノ曲《かぞへうたヴァリエーション》
		②公文理恵・笹子まさえ 小黒恵子	『子どものうた選集 うたのパレット』分析報告①
AⅣ	豊田 典子	①釘宮 貴子	日本詩歌のドイツ語訳とジャポニズムの歌曲 —グレーテ・フォン・ツイーリッツ《日本の歌》(1919) —
		②劉 麟玉	江文也の歌曲集《生蕃四歌曲集》(Op.6) の展開 —荻野綾子コレクションに所蔵されている自筆譜との比較を通して—
BⅠ	上原由記音	①山本 奈央	アレクサンドル・スクリャービンの交響曲とピアノ・ソナタの比較研究 2 —《交響曲第 3 番「神聖な詩」》作品 43 と《ピアノ・ソナタ第 4 番》作品 30 をめぐって—
		②小林瑞季・田中昌司	演奏時の脳活動を利用した楽器とエレクトロニクスの為の作品の模索
BⅡ	寺内 大輔	①阿部亮太郎	三善晃の三部作の立ち位置
		②小川 有紀	ヘレニズム期の楽器演奏者とヒエラルキー —ワイン、シンボシオン Συμπόσιον、水オルガン、世界最古の鍵盤楽器奏者は女性であった—
BⅢ	竹下可奈子	①初山 陽子	バードの多声楽曲の歌詞の扱い —器楽パートへの歌詞付けに着目して
		②本間 千晶	日本語話者がロシア声楽作品を演奏する際の問題点と改善方法
BⅣ	清水 稔	①中村 隆夫	強弱記号 <i>mf</i> の立ち位置—バロックからロマン派への過程で—
		②木村 貴紀	音楽評論における価値基準の諸相
CⅠ	小西 潤子	①三島 郁	19 世紀ウィーンにおける和声教育
		②魏 然	『山歌寥哉』に見る中国ポピュラー音楽の新たな方向性—山歌と『聊齋志異』の融合作品の考察—

- C II 渡辺 修身 ①朝倉由香利 ハリウッド映画の音楽におけるドリア旋法
②余田有希子 サイレント映画期における音楽と感情—映画伴奏用楽譜集を題材として—
- C III 永岡 都 ①河本 洋一 【WS】体感！ビートレコード®を使ったアンサンブル
②太田 公子 高齢者合唱における指導と母音フォルマントの関係—集団歌唱効果の追求に向けて—
- C IV 高沢 学 ①池田 光穂 サルサの女王は死後に Pay-Back を受くる—歌手セリア・クルスと東西冷戦—
②平石 孝太 ウクライナでの音楽活動—ウクライナ国立オデーサ歌劇場に着目して—
- D I 桐山 由香 ①滝 奈々子 伝統音楽から民俗音楽、そして民衆音楽へ—グアテマラ国民文化の文化表象について
②宮本賢二朗・杉江 淑子
子どものための多文化音楽教材の開発と実践—原語と日本語の2言語を用いた活動の成果と課題—
- D II 近藤 茂之 ①梶村 有美 学校における合唱伴奏の経験がもたらすもの (2)
—音楽の非言語的コミュニケーションについての一考察—
②佐藤和貴・佐藤克美・渡会純一・田中悠一郎
学習者自身の声質を模倣の音声とする歌唱練習の効果
—「本人の声質のまま音高の変更が可能な音響システム」を利用した音声表現を通して—
- D III 今 由佳里 ①加藤内蔵進・長岡功 ドイツ付近の季節サイクルの中で見た春・5月と歌
—異質な他者の発見を促す大学での ESD 学際的授業の実践報告—
②宮川 渉 非音楽専攻学生を対象とした ICT 活用音楽創作授業の取り組み
- D IV 加藤富美子 ①渡邊 寛智 明治後期の子どものための音楽劇が大正期の音楽文化に与えた影響について
②鈴木慎一郎 山梨県の新民謡と野口雨情—《甲州音頭》に着目して—
- E I 疇地 希 ①曾田 裕司 幼児の生成変化する表現はいかに作動するか—ドゥルーズ＝ガタリの哲学に基づく試論—
②小島 エマ・高井 翔海
乳幼児の音楽活動記録の方法について—保育、看護、心理学分野の方法論からの示唆—
- E II 久保田葉子 ①山崎 英明 保育士養成大学における領域「表現（音楽）」の指導内容に関する比較検討
②高井 翔海 保育者養成校における Edwin E. Gordon の音楽適性診断の運用と結果
- E III 麓 洋介 ①尾見 敦子 【WS】「書く」ことから始める「楽しい」読譜指導
—コダーイ・アプローチによる教員養成の授業から—
②高島 章悟 特別支援学校における金管楽器演奏の可能性と実践
- E IV 西沢 久実 ①岡 ひろみ ベトナムの障害児療育センターにおける音楽活動
②近藤 真子 【WS】クロックオーケストラで楽しむ！インクルーシブ音楽体験
—創造のプロセスを視点として—
- F I 水戸 博道 ①川村 暁・牛渡克之・長谷川正規
旋律吹奏時に感じた好き嫌いの分布に関する一考察—被験者実験の修正データを基に—
②杉山 雄一 2歳児のヴァイオリンレッスン—構えの指導—
- F II 田中 慈子 ①中畑 淳 東日本大震災の被災地域における音楽的アウトリーチ活動
—大学生によるアクティブラーニングの実践—
②高木麻衣子 授業と一体化した継続的なアウトリーチ効果
—STEAM教育における芸術の役割を見据えて—
- F III・IV 木下 千代 (担当：奥 忍) 『一献の系譜』自主上映



【実行委員会】

委員長：藤原 嘉文 (山梨大学名誉教授)
事務局長：小島 千か (山梨大学)
委員：池山 洋子 (山梨大学)
大内 邦靖 (山梨大学)
齋藤 武 (岡山大学名誉教授)
新海 節 (安田女子大学)
豊田 典子 (大阪人間科学大学)
中島 涼子 (山梨大学)

新入会員紹介

2023 年 11 月 1 日～2024 年 3 月 10 日の間に、**プライバシー保護の観点からこの部分を削除しています。**

6 名の方々が入会されました。新入会の方の自己紹介を掲載します。なお、紙数の関係で、丁寧語・謙譲語・尊敬語などの敬語や文末の「よろしくお願いします」などのご挨拶は省いています。(五十音順)

プライバシー保護の観点からこの部分を削除しています。

会員による新刊・CD リリース案内

笹野 恵理子さん

笹野恵理子・学校音楽文化研究会編著『学校音楽文化論—人・モノ・制度の諸相からコンテクストを探る—』

【出版社】東信堂

【判型・頁数】A5 判、368 頁

【発行年月日】2024 年 2 月 28 日

【定価】4950 円（税込）

【ISBN コード】978-4-7989-1894-5

安藤 政輝さん

CD「安藤政輝 宮城道雄を弾く 8—秋のしらべ—」
宮城道雄の〈秋〉をテーマにした 8 曲を収録。

1. 《秋の調》歌・箏・尺八 2. 《砧》箏 2 部 3. 《遠砧》歌・箏 2 部・三絃・尺八 4. 《唐砧》箏 2 部・三絃 2 部
5. 《こおろぎ》箏・尺八 6. 《虫の武蔵野》歌・箏・三絃・胡弓 7. 《鈴 虫》箏・尺八 8. 《落葉の踊》箏・三絃・十七絃 会員の安藤珠希さんも助演しています。

【出版社】（公財）日本伝統文化振興財団

【発行年月日】2023 年 11 月 22 日

【定価】3,000 円＋消費税

【品番】VZCG-847

後援コンサート等情報

宮田 知絵さん

宮田知絵ソプラノ・リサイタル

「わがうた と 愛をつづるうた」

日 時：2024年2月12日（月・祝）14:00開演（13:00開場）

会 場：大阪市中央公会堂 中集会室

料 金：4,000円

出演者：宮田知絵（Sop.）、小笠原真也（Pf.）、

岡田光樹（Vn. 賛助）

主な曲目：團伊玖磨『わがうた』『抒情歌』他、齊藤武『電話』、『はるかな未来のために』、ピアノのための「青空の音を聞いた」～團伊玖磨に寄せるオマージュ～（委嘱作品）他

田原 さえさん（企画）

We Love Bach!! IV ～インヴェンションへの道のり II 研究者と演奏家を迎えて～

日 時：2024年4月4日（木）

◎富田 庸氏による講座

第1部 10:00～12:00

「資料研究からみるインヴェンションの起源と構想」

第2部 13:00～15:00

「受容史研究からみた19世紀のインヴェンション」

会 場：日立システムズホール仙台・エッグホール

出演者：講師：富田 庸（バッハ研究者 / ベルファスト・クイーンズ大学（英国）教授）

日 時：2024年4月5日（金）

◎栞形亜樹子氏による演奏とお話

開演 19:00（開場 18:30）

会 場：日立システムズホール仙台・交流ホール

出演者：栞形亜樹子（チェンバリスト / 東京藝術大学講師）

料 金：一般 3,000円・大学生以下 2,000円・中学生以下 1,000円（当日はそれぞれ 500円増）

両日共通券（4月4日各部）一般 5,000円・大学生以下 3,000円・中学生以下 1,500円（4月4日共通）一般 7,000円・大学生以下 4,000円・中学生以下 2,000円

チケット及び問合せ先：MHKS Tel: 070-6625-9244
／ e-mail: info@mhks.jp

河原千尋さん

河原千尋プロムナードコンサート II

日 時：2024年4月14日（日）14:00開演

会 場：新宿 GARBA HALL

料 金：3,500円

出演者：河原千尋（ピアノ）

主な曲目：J.S. バッハ / パルティータ第5番

ラヴェル / 亡き王女のためのパヴァーヌ 他

小畠 エマさん

“蝶々夫人”から30年の軌跡

—エキゾチシズムのうちそと—

日 時：2024年5月13日（月）19:00開演

会 場：銀座王子ホール

料 金：5,000円

出演者：小畠エマ（ソプラノ）

Alessandro・Zuppardo（ピアノ）

主な曲目：プッチーニ / ある晴れた日、ワーグナー /

温室にて、モンサルバーチェ / ピアノの中のキューバ

問合せ先：ピッコロ・グランデ・コンチェルト

090-4620-4470

木下千代さん

木下千代ピアノリサイタル

日 時：2024年7月2日（火）19:00開演

会 場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

料 金：3000円

出演者：木下千代（ピアノ）

主な曲目：ショパン / ソナタ変ロ短調 p.35、幻想ポ

ロネーズ p.61 他ショパンの作品

問合せ先：ピアチエーレミュージックマネジメント

0725-43-6310

安藤政輝さん

安藤政輝リサイタル 宮城道雄全作品連続演奏会 24

日 時：2024年8月3日（土）14:00開演（13:15開場）

会 場：紀尾井小ホール

料 金：前売：4,500円／当日売：5,000円

出演者：安藤政輝、安藤珠希

主な曲目：《四季の柳》《泉》《中空砧》《衛兵の交替》《日蓮》他、昭和28～29年の8作品

日本音楽表現学会創立 20 周年記念事業について

○ 第 1 回助成コンサート公募 選考結果の報告

助成コンサート委員長 小川有紀

「助成コンサートの公募」は、音楽表現の深化と発展をめざし、日本音楽表現学会の設立 20 周年を記念して新たに始められたものです。研究に基づいた質の高い音楽活動を推進することを目的としており、学会機関誌『音楽表現学』と並ぶ事業です。助成対象は本学会員主催の自主企画音楽公演です。

第 1 回目の公募対象は 2024 年 4 月～ 25 年 3 月の間に行われる公演とし、応募期間は 2023 年 9 月 15 日～ 12 月 15 日でした。計 4 件の応募申請があり、複数の選考委員の意見を受け慎重に審議しました。その結果、1 件を「B: 若干の修正を条件に採択」、1 件を「C: 不採択【最終選考ノミネート企画】」、2 件を「C: 不採択」と決定しましたことを、報告します。

なお、今回、不採択の企画も含め、いずれも今後の研究の発展が期待される素敵な企画であったことを申し添えます。来年度も会員の皆様からの意欲的な応募をお待ちいたします。

○ 『音楽表現学』 英文要旨集の公開について

『音楽表現学』 英文要旨公開の手始めとして、Vol.21 掲載の原著論文・研究報告の英文要旨を HP に公開しました。

○ 会員情報管理システムの構築について

HP のリニューアル他につきまして、もう少しお待ちくださるようお願いします。

『音楽表現学』 Vol.22 原稿募集

〆切は 2024 年 5 月 15 日 (月) 24:00 厳守です。

みなさまのご投稿をお待ちします。

『音楽表現学』編集委員長 小川 容子

投稿資格: 投稿者および共同執筆者は、「その年度までの年会費を納入した会員に限り(投稿規定 3)」。投稿する前に、共同執筆者も学会員であること、投稿者は投稿年度までの年会費の納入状況をご確認ください。

執筆要領・投稿方法: 『音楽表現学』 Vol.21 の巻末または学会 HP の「投稿規定」をご覧ください。

原稿書式: 学会 HP 掲載の「音楽表現学テンプレート」をご使用ください。日本語用の他、新たに英語用テンプレートも掲載しています。引用文献については HP の例示をご参照ください。

送付先: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp
投稿原稿に学会 HP 掲載の「投稿申込書」と「投稿チェックシート」を同梱してください。

* 「人に読んでもらう、理解してもらえる」原稿を作成するために本学会発行『2020 年版音楽表現論文執筆のしおり』を座右にご執筆ください。

* 「投稿チェックシート」は「執筆のための指針」と捉えてください。執筆前に「手引き」としてお使い下さい。

* 原稿の投稿する前には、原稿内容とチェック項目の間に齟齬がないか、改めて「投稿チェックシート」を確認し、齟齬があれば適合するように修正してください。

* そのためにも原稿は遅くとも締切日の 1 週間前を目処にして作成されることを強くお勧めします。「完成した」と思ったら一晩寝かせてください。

* 応募原稿が「研究者倫理に反する行為」にふれていないか、ご確認ください(文部科学省ガイドライン)。

* 必ず周りのだれかに読んでもらいましょう。読んでもらうことによって、自分の主張・意図を自分が考えているように理解してもらえるかどうか分かります。

* 採択される原稿の多くは、以下のような要件を備えています。

① 問題設定と研究方法・研究対象が、音楽表現研究として妥当であり、説得力がある。

② 関連する先行研究を十分にふまえた上で、未発表の原稿としてオリジナリティがある。

③ 標題が内容を適切・正確に表している。

④ 論旨の展開に矛盾や飛躍がない。

⑤ 章・節の構成や順番が適切である。

* 多量の譜例や図版、編集に特別な作業を要する場合には実費を支払っていただきます。

* 演奏する曲を何度も繰り返し練習するように、自分の文章も何度も読み直して推敲しましょう。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 2024 年度総会について

2024 年度総会が第 22 回（バカスの宴）大会第 1 日目（6 月 22 日）に開催されます。会員の皆様にはご出席をお願いいたします。やむをえず総会に欠席される場合は、委任状の提出をお願いいたします。委任状は、第 22 回大会総会委任状提出 Google フォーム (<https://forms.gle/MJSv1KxqPfd19SZv7>) からご提出ください。

右の二次元コードからも提出いただけます。



2. 年会費の納入について

- (1) 納入期限：その年度の 4 月 1 日から大会開催 1 週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初 (4 月) に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3 年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」) に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

- (2) 振込方法：

年会費納入方法の合理化のために、「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

年会費納入方法：A) 郵便局からの振込 (払込取扱票を利用)

(記号—番号) 01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

B) 他行等からの振込 (店名 - 口座番号)

店名 一三九 (139) 店 預金種目：当座 口座番号：0078225

- (3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」) を領収書として保管ください。大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

- (4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度

学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HP から「年会費減免願」書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

3. 住所等、会員情報の変更 HP をご覧の上、事務局までメールでご連絡ください

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

変更のお届けを事務局で受け取りましたら、「受け取りました」の返信をお送りします。返信が届かない場合は、お手数ですが、確認のため再送くださるようお願いいたします。

4. 学会員の研究サポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、前年度末までに会員資格を取得し、当該機関紙発行年度の年会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は毎月5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守です。

大会発表応募〆切は毎月2月15日24:00です。

5. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

学会HPより[コンサート等後援/協賛申請フォーム]をダウンロードして、必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください(各項目は1行39字以内を原則とします)。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP及びニュースレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が1週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニュースレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名(会員)、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格(税抜価格)、購入方法など
- ・CD、DVDの項目は制作・編集者名(会員)、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格(本体価格)、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

6. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。

代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

Vol.	会員価格(1部)	一般価格(1部)
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

(2)『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

[購入申込書]

メール等で事務局までお申し込みください。

会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000 円（正価×0.9－α、税込・送料込み）

一般価格：3,456 円（税抜 3,200 円）

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。

氏 名：_____

部 数：_____

送 付 先：_____

連絡用 E-mail：_____

7. 入会手続きについて

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。

- ①入会申込書はHPからダウンロードし、メールで事務局にお届け下さい。
- ②事務局から必要な手続きについて連絡が届きます。その連絡に沿って手続きをお進めください。
- ③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。
 - ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
 - ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

8. 退会手続きについて

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ①「退会届」をHPからダウンロードして必要項目をご記入の上、メールで事務局にご提出下さい。
- ②退会の必要条件「その年度までの年会費を完納」を満たしているかどうか、ご確認ください。
- ③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。

学会事務局 E-mail：music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

第21回日本学術振興会賞・第15回日本学術振興会賞有志賞の推薦募集について

学会からの推薦を希望される方は本学会の「日本学術振興会賞」および「育志賞」の推薦に関する内規（『音楽表現学』vol.21, p.149）をご覧の上、事務局までお申し込みください。

「日本学術振興会賞」

URL https://www.jsps.go.jp/j-jsps-prize/yoshiki_01.html

推薦受付期間：2024年4月3日（水）～4月8日（月）17:00

対象者の条件：45歳未満。博士の学位を取得もしくは同等以上。

「日本学術振興会育志賞」

URL <https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/yoshiki.html>

推薦受付期間：2024年5月23日（木）～5月28日（火）17:00

対象者の条件：34歳未満。博士後期課程に在学する者。

申し出のあった会員の中から本学会として推薦するにふさわしいと思われる方を理事会にて選出します。候補者として選ばれた方は、受付期間に書類を整えて準備、学術振興会に電子申請することになります。ご質問等がありましたら事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp までご連絡下さい。

日本音楽表現学会第22回（バッカスの宴）大会会場のご案内

会 場：山梨大学甲府キャンパス（甲府市武田4丁目4-37）
会 期：2024年6月22日(土)・23日(日)
内容・参加方法等：詳細は本誌p.3～p.5をご覧ください。
アクセス：新宿、新横浜、名古屋、静岡からJRに乗り、「甲府」下車。
JR甲府駅「北口」から徒歩15分、バスまたはタクシー

オープニングの「唄い隊」募集

大会は菅野由弘氏が作曲された《酒をつくる里のものがたり》で開幕します。これまでとは趣向を変えて、学会員による生声・生歌演奏です。リアルで積極的・主体的な参加型音楽表現です。指揮・合唱指導は作曲者ご自身が快諾してくださいました。

そこで「唄い隊」を募集します。専門分野や合唱経験の有無を問いません。興味のある方、みなさま、是非ご参加ください。日本音楽表現学会会員による「酒造り唄」を唄ってバッカス大会を大いに盛り上げましょう。

練習スケジュール：

1. 参加希望者には予め楽譜をお送りします。
2. 楽譜が届いたら、希望声部の譜読み・自主練をお願いします。
3. 当日リハーサルを11:00からM号館で行います。詳細は受付横に掲示します。

参加申込：ご氏名と希望パートをお記しの上学会事務局へメールでお申込下さい。

氏名 _____ 希望パート Sop.、 Alto、 Ten.、 Bass

申込期限：4月20日(土)

多数のご参加をお待ちしています。



2023年度役員・委員等一覧

会 長：小西 潤子 副 会 長：藤原 嘉文、石原 慎司 事 務 局 長：杉江 淑子 財 務 局 長：寺内 大輔 理 事：宮本賢二郎（事務局担当） 小川 有紀（財務局担当） 吉田 秀文（総務担当） 大竹 紀子（総務担当） 監事：渡会 純一 橋本 智明 編集委員会： 委員長 小川 容子 副委員長 尾見 敦子 委員 稲木 真司 酒井 勇也 曾田 裕司 田中 宏明 田中 昌司 中畑 淳	助成コンサート委員会： 委員長 小川 有紀 副委員長 大竹 紀子 委員 小島 千か 長谷川正規 藤原 嘉文 吉田 秀文 選挙管理委員会： 委員長 牛渡 克之 委員 岡 ひろみ 佐藤 薫 著作権ワーキング： 代表 福本 康之 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 会員情報管理システム構築ワーキング： 代表 小野 亮祐 委員 小川 有紀 杉江 淑子 寺内 大輔 宮本賢二郎 渡会 純一	会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 後藤 丹 参与：中村 隆夫 安田 香 参事：（HP）近藤 晶子 （D室）中村 公俊 （J-Stage）長山 弘 （庶務）似内裕美子 （庶務）松井 萌 デザイン室長：奥 忍 スタッフ（D室）湯浅 佳苗 （財務）藤脇知寿子
--	--	--

編集後記

桜の便りも聞かれ、新しい年度を迎える頃となりました。ニューズレター2023年度第3号をお届けします。情報が満載されていますので是非ご一読をお願いします。特に2024-2025年度の会長・理事長選挙開票結果報告、創立20周年記念事業については重要な事項ですのでご確認ください。また、巻頭言では、演奏家としての姿勢や立場が教養の視点から熟考され、「音楽を取り巻く世界への探究心」に感慨深く、思いを馳せました。

今年6月には山梨大学を会場に、第22回（バッカスの宴）大会が挙行されます。多くの方々のご参加をお待ちしています。
(吉田秀文)